

# すこやか



## 院長就任のご挨拶

景山雄介前病院長の後を引き継ぎ、2023年6月より千葉メディカルセンターの病院長を務めさせていただきますこととなりました。前身の川崎製鉄健康保険組合千葉病院から半世紀以上にわたり地域医療の中核的役割を担ってきた歴史ある病院の舵取りを任されることとなり、身の引き締まる思いでおります。

世の中の大きな変化を受けて、医療を取り巻く環境も変革の時期を迎えています。情報通信技術の進歩により医療情報の非対称性が解消され、患者さんが医師や病院を容易に選択できるようになっていく一方で、医薬品や機器の進歩、診療ガイドラインの整備などによって医療のコモディティ化が急速に進展し、医師や病院の差別化は益々難しくなっていきます。このような時流の中で、地域医療の基幹病院に求められるものは、単に高度で多様な医療サービスを提供するというだけでなく、「病院の社会的責任」を果たすということがより重要になっています。

新型コロナ禍の3年間を経て、千葉市およびその周辺地域の医療提供体制が抱える諸問題、とりわけ、効果的な医療提供に必要な医療資源の集約や有機的な連携といった課題が一層浮き彫りになってきました。このような事態を目の当たりにしたときに、当院が果たすべき社会的責任とは何かと問えば、急性期医療の多様なニーズに対応できる診療機能を整備し、当院を取り巻く全ての医療関係機関がその機能を十分に発揮できるような連携を主導していくこと、そして、より効果的な地域医療の実現に向けてその中心的な役割を担っていくことではないかと思えます。

このような使命に怯えを感じながらも、当院の歴史とその文化をしっかりと引き継いで、この地域に新たな医療提供体制を創生していくのだという気概を持って今後の病院運営に取り組んでいく所存です。皆様には、これまで以上にご支援、ご指導をいただけますようお願い申し上げます。

2023年6月

病院長 福田 和正

循環器内科 診療部長 生富 公康

近年の循環器治療において、技術革新が目覚ましい領域として注目されているのが、不整脈領域や心不全に対するカテーテルやデバイス治療です。2023年4月より新たに立ち上げた循環器内科では、これまでの虚血性心疾患の治療に加えて、不整脈や心不全に対する治療を拡大し、偏りのない最善の医療を提供してまいります。また心臓血管外科と緊密に連携し必要に応じ両科の治療の組み合わせ（ハイブリッド）治療も提供いたします。安心して、ご受診ください。

## 1. 虚血性心疾患について

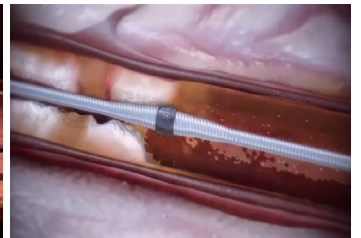
血管の狭窄により血流が低下した状態にとどまっている病態を「**狭心症**」、血管が完全に閉塞し、心臓の細胞が壊死してしまった状態を「**心筋梗塞**」といい、これらにより心臓の筋肉への血流が遮断される病気を**虚血性心疾患**といいます。急性心筋梗塞と不安定狭心症は、待たなしの緊急の対処を要します。当院では**24時間体制で緊急カテーテル治療を実施**できるように努めております。**新規に胸部症状が出てきた場合や、安静時に出現する胸痛、次第に胸部症状が増悪してくる場合などは、躊躇せずに早めに受診してください。**

### カテーテル治療（経皮的冠動脈形成術：PCI）

病状に応じて、血管を広げ血流を改善するカテーテル治療（**経皮的冠動脈形成術：PCI**）をご提案いたします。その際に、冠動脈の見た目の狭窄度だけで治療方針を決めるのではなく、**FFR/IFR**といった近年で最も科学的妥当性を証明されている指標を積極的に使用して、真に治療が必要な方にのみカテーテル治療を実施します。実際の治療にあたっては、一般的なバルーン拡張やステント留置のみならず、通常治療困難が予測される高度石灰化病変に対しては、専門的技術を要する**デバリングデバイス(Rotablator, Diamondback360 など)**を駆使し、血管のつまりを治療します。



Rotablator



画像提供：ポストン

Diamondback360 画像提供：メディキット

## 2. 閉塞性動脈硬化症について

下肢閉塞性動脈硬化症は、喫煙習慣、高血圧、糖尿病などといった動脈硬化を背景に、**足の動脈血流が障害**される病気です。

初期には「間欠性跛行」と呼ばれる、歩行時に足がだるくなる、ふくらはぎがつっぱる、しびれるといった症状があり、休むと楽になる、といった特徴があります。病状が進行すると、安静時疼痛や、足にできた傷が治らない、ずっと赤く腫れている、指先やかかとが黒くなる、という「**重症下肢虚血**」の状態に悪化します。緊急性の高い状態で、足や足趾の切断になる危険性があります。このような症状を有する方は、早急にご受診してください。必要に応じては心臓血管外科スタッフと相談し、**外科的バイパス術と血管内治療の両方を行います。**

## 3. 不整脈治療について…治療や緊急度の現状を見極めるのが不整脈治療の第一歩です

脈が速い、遅い、乱れるなどの、リズム異常の状態を「**不整脈**」と呼び、**脈が極端に遅くなる**と、心臓から送り出される血液が不足し、ふらつきやひどい場合には意識を失うことがあります。逆に、**脈が早すぎた**場合にも、心臓が空うちの状態となることで、十分な血液を送り出すことができなくなり、心不全などを合併することがあります。

### ●当院で新たに開始された治療

脈が速くなる不整脈の治療：

**高周波カテーテルアブレーション（経皮的な心筋焼灼術）**

脈が遅くなる不整脈の治療：

**リードスペースメーカー植込み**

特殊デバイス：

**ICD（植込み型除細動器）、CRT（両室ペースメーカー）**

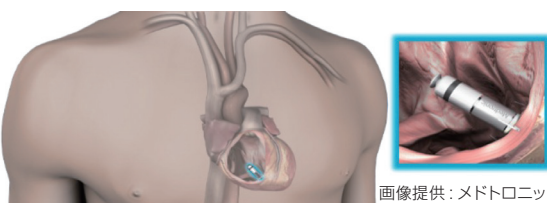
## 高周波カテーテルアブレーション（経皮的心筋焼灼術）

昨今とくに治療の対象として多いのが「心房細動」という不整脈です。心臓の中に血の塊(血栓)が出来、脳の血管に飛ぶ(塞栓)を起こすことで、脳梗塞の原因となるため、高齢者や持病がある方は非常に重要な疾患です。不整脈の原因となる心筋の一部分に火傷の痕をつけることで、余分な心筋の電気信号を途絶し根本的に心房細動に治療アプローチするのがカテーテルアブレーションです。治療時間は3時間程度で、眠っている間に治療することができ、なるべく治療中の苦痛がないように努力しています。カテーテルアブレーションは、心房細動以外にも、**心房粗動、心房頻拍、発作性上室性頻拍、期外収縮、心室頻拍**、などといった様々な不整脈に対しても適応があります。



## ペースメーカー

脈が遅くなることを徐脈と呼びます。極端に脈が遅くなると、心臓から送り出される血液が不足し、全身に行く血液量が不足し、脳血流低下による眩暈や失神や、心不全を起こしてしまいます。「ペースメーカー植え込み」は脈の数を正常に戻すために用いられ、電気刺激によって脈拍を調節し症状を改善させます。



画像提供：メドトロニック

当院では皮下にペースメーカーの機械本体を植え込む必要がない、新しいデバイスである「リードレスペースメーカー植え込み」も開始しました。いくつかの制限があることから、現段階では一部の患者さまに限定的な適応とさせていただきますが、この場合には、メスなどによる切開は必要なく手術による体への負担は少なく、手術後も外からはペースメーカーが入っていることは全くわからない出来上がりになり、**生活の質向上**へつながります。

## 4. 心不全の治療もできる新しいデバイスを始めます

一瞬で命を奪う致死的不整脈に対して AED(体外式徐細動器) が知られ、広く普及しております。このような致死的不整脈を持病として持っておられる患者さまに対して、究極的な治療となるのが ICD と呼ばれる「植え込み型除細動器」です。さらに、心不全自体を治療するペースメーカーとして植えられるデバイスが、CRT(心臓再同期療法) という機械です。

## 植え込み型除細動器 (ICD)

これは、AED を小型化してペースメーカーと同じように体内に植込むようにしたもので、24時間365日で患者さまの心臓電氣的活動を常に監視し、命を危険にさらす心室頻拍や心室細動を感知すると不整脈が停止するようすぐに**電気ショックやペーシング刺激による治療を行い心臓の脈拍を正常に戻してくれる**ものです。抗不整脈薬による薬物療法と併用することで、より安全に、より有効に使用され得ます。



ICD  
画像提供：  
メドトロニック

## 心臓再同期療法 (CRT)

心臓再同期療法 (CRT) に使用する**両室ペースメーカー**は、微弱な電気刺激を心臓の左右両方の心室に送り、心臓の壁の動きのズレ(左脚ブロックと診断された方など)を主な原因とした心臓のポンプ機能低下に対して、**ズレを補正**することで心臓の収縮力を改善し、**心不全を治療**します。CRT に、先の植え込み型除細動機能 (ICD) を併せ持つ器機 (CRT-D) もあり、心不全の治療を行いつつ、突然起こりうる致死的不整脈による突然死も予防できる、**特別なペースメーカー**です。



CRT  
画像提供：  
メドトロニック

当院では、これらの高度な機能を有したペースメーカー関連デバイスの植え込みにも対応して参りますので、疑問などありましたら、是非、外来担当医にご相談ください。



# 外来診療のご案内

令和5年5月 現在

午前の診療	診療受付時間 8:30～11:00 形成・美容外科の受付時間 火・木・土曜日 8:30～11:00
午後の診療	スポーツ医学センターの受付時間 火・水・金曜日 14:30～16:00 形成・美容外科の受付時間 月・木曜日 13:30～16:00 泌尿器科の受付時間 木曜日 13:00～15:30 女性泌尿器科の受付時間 月曜日 13:00～15:30
不妊治療センター	月～金曜日 8:30～16:00 土曜日 8:30～11:00
予約について	<ul style="list-style-type: none"> <li>●再診の方は、予約制を行っています。予約方法などは、予約票をお読みください。</li> <li>●初診の方は、予約ができません(紹介状をお持ちの方、歯科、不妊治療センター、形成・美容外科、皮膚科を除く)。 なお、整形外科(手・脊椎・腰痛・肩・肘・脊椎内視鏡センター・リウマチ・股関節外来)、乳腺外来、内科(血液内科・禁煙外来)、脳神経外科(脳神経血管内治療科)、小児科(乳幼児健診)、ペースメーカー外来、眼科、その他一部は、完全予約制です( )は全て完全予約制となっております。</li> <li>●上記以外でも紹介状のある方は、予約が出来ます。詳しくは地域医療連携室へお問い合わせください。(043-261-8199)</li> </ul> <p>※ペースメーカー外来は基本第2週目となりますが、休日等により変動致しますので詳しくはお問い合わせください。</p>

診療科		月	火	水	木	金	土	
内科	新患・初診	午前	●	●	●	●	●	
	内分泌代謝	午前	再診のみ	再診のみ	再診のみ	再診のみ	再診のみ	
		午後	再診のみ	再診のみ			再診のみ	
	リウマチ・膠原病	午前		再診のみ	再診のみ	再診のみ	再診のみ	再診のみ
		午後				再診のみ		
	呼吸器内科	午前		再診のみ	再診のみ	再診のみ	再診のみ	
		午後	●					
	予約外来	午前	再診のみ	再診のみ	再診のみ	再診のみ		再診のみ
	血液内科	午前		●		●		
		午後	●			●		
禁煙外来	午前				●			
	午後							
腎臓内科	午前						第1のみ (完全予約制)	
	午後		●					
神経内科		午前	予約制	予約制	予約制	●	予約制	
心臓血管センター	循環器内科	一般外来	午前	●	●	●	●	●
		ペースメーカー外来※	午前	●		●	●	
心臓血管外科		午前	●	●	●	●	術前外来	
消化器センター	消化器内科	午前	●	●	●	●	●	
	消化器外科	午前	●	●	●	●	●	
外科		一般外来	午前	●	●	●	●	
整形外科	一般外来	午前	●	●	●	●	●	
	スポーツ医学センター	午後		●		●		
	肩・肘外来	午後		●	●	●		
	脊椎・腰痛外来	午後		●	●	●		
	手外来	午後			●			
	脊椎内視鏡センター	午後		●	●	●		
リウマチ・股関節外来		午後			●			
形成・美容外科		午前		予約制 (再診のみ)		予約制 (初診のみ)	1-3週 予約制(再診のみ) 2-4週 予約制(初診のみ) 5週 休診	
		午後	予約制 (初診のみ)			予約制 (再診のみ)		
脳神経外科	一般外来	午前	●	●	●	●	●	
	脳神経血管内治療科	午前				●		
産婦人科	婦人科	新患・予約外	午前	●	●	●	●	
		予約外来	午前	●	●	●	●	
	産科	新患・予約外	午前	●	●	●	●	
		予約外来	午前	●	●	●	●	
	不妊治療センター		午前	●	●	●	●	
			午後	予約外 16時迄	予約外 16時迄	予約外 16時迄	予約外 16時迄	
小児科	一般外来	午前	●	●	●	●		
	予約外来	午後	●	●	●	●		
眼科		午前	●	●	●	●	●	
		午後		●	●	●		
耳鼻いんこう科		午前	●		●	●		
皮膚科		午前	予約制 9時30分～	予約制	予約制 9時30分～	予約制 9時30分～	予約制 9時30分～	
泌尿器科	一般泌尿器科	午前	●	●	●	●	●	
	女性泌尿器科	午後	●	●	●	●		
歯科口腔外科・歯科・口腔ケアセンター		午前	紹介予約制	紹介予約制	紹介予約制	紹介予約制	紹介予約制	

(注) 1. 担当医や休診・代診に関する情報は、当院ホームページにてご確認ください。 2. 最新の情報は、ホームページまたは直接お問い合わせください。